

# 福島県の留学生

第18号

INTERNATIONAL STUDENTS OF FUKUSHIMA PREFECTURE



県立博物館



県立美術館



福島空港

福島県留学生交流推進会議

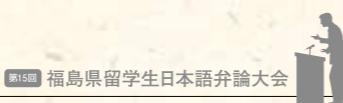
- 卷頭言**  
**福島県における国際化と留学生の受け入れについて** 福島県知事 佐藤 雄平
- [推進会議の活動]** - 平成20年度 -
- 1 福島県留学生交流推進会議要項
- 2 福島県留学生交流推進会議運営委員会要項
- 3 支援機関・団体紹介  
**郡山市国際交流協会の活動**
- The Voice!**  
**留学生の声**
- 4 理想的な日本の生活  
福島大学 共生システム理工学類4年  
アルディア ジャヤンティ（インドネシア）
- 5 うるさいのはどっち?  
福島工業高等専門学校 機械工学科4年  
シャワル（マレーシア）
- 6 日本と私の不適切な(?)関係史  
福島大学 人間発達文化学類交換留学生  
甘 東勲（カム・ドンファン）（韓国）
- 7 大好きな日本。だから…  
東日本国際大学 福祉環境学部1年  
ユン レタン タオ（ベトナム）
- 第15回 福島県留学生日本語弁論大会**
- 8 優勝  
**奇数の国と偶数の国**  
東日本国際大学 留学生別科  
商 国芳 ショウ コクホウ（中国）
- 9 準優勝  
**想像とちがった日本**  
東日本国際大学 留学生別科  
イイモン（ミャンマー）

第15回 福島県留学生日本語弁論大会

- 11 3位 **日本、ありがとう**  
福島大学 千 文蓉 ウブンヨウ（中国）
- 12 アジア 友好協会 特別賞 **日本、始めて**  
福島大学 行政政策学類交換留学生 李 瑞 リズイ（中国）
- 13 アジア 友好協会 特別賞 **最初の1ヶ月**  
会津大学 大学院 王 詩洋 オウ ショウ（中国）
- 14 第15回 特別賞 **自分らしさって何だろう**  
福島大学 経済経営学類 ソン スンファン
- 15 チューターからフレンドへ ~笑顔の温かさ~  
福島大学 行政政策学類 宮 登希子（日本）

**留学生関係資料**

- 16 外国人留学生受入れの現状
- 出身国・地域別外国人留学生数
- 17 地方別・都道府県別留学生数
- 福島県内高等教育機関における  
**外国人留学生の受け入れ状況**
- 国費・私費別外国人留学生数
- 福島県内高等教育機関における  
**外国人留学生の受け入れ状況**
- 国・地域別外国人留学生数
- 18 留学生の奨学金受給状況
- 留学生の寄宿状況
- 20 平成20年度  
**福島県留学生交流推進会議機関名・団体名**
- 21 平成20年度  
**福島県留学生交流推進会議構成員・運営委員名簿**



# 福島県における国際化と留学生の受け入れについて

福島県知事  
**佐藤 雄平** Yuhei Sato

今日、経済活動をはじめ、文化、社会などあらゆる分野において、急速にグローバル化が進んでおり、国はもとより、地域においても日に日に諸外国との結びつきが強くなってきております。もはや国際化を避けて地域の発展は得られなくなっています。福島県の人口に対する外国人登録者数は、ここ10年間で、約1.5倍となっているように、今後とも増える可能性があり、本県に暮らす外国籍の方々に対する支援が必要となっております。

そこで、本県では、平成17年度に『うつくしま国際施策基本計画』を策定し、「地球市民のふくしまをつくる」、「多文化共生社会の構築」、「多様なネットワークづくり」を基本目標として、その実現に向け、国際理解講座等の実施、多言語による相談窓口等の機能強化、日本語教室支援など、様々な事業を行ってきているところです。

さて、平成20年7月に、『留学生30万人計画』の骨子が国により策定されました。外国人留学生の受け入れを進めることは、人材育成を通じた国際貢献や、大学・企業の国際的な競争力を高めることにつながります。また、地域にとっても、留学生の活力や異文化との交流をもたらすことは地域の活性化につながることであり、帰国後も様々な分野で、相手国と地域との架け橋として、相互理解・友好関係の促進に寄与することが期待されます。

一方、留学生を受け入れることは、日本語の学習、災

害時の対応や医療など、生活面でのサポートが必要になります。また、留学生の多くは学費や生活費を稼ぐためにアルバイト等が余儀なくされており、アルバイト以外での交流の場が少なくなっているのが現状です。留学生には、ぜひとも素晴らしい福島の自然や文化に親しみことや、地域の方々との交流を通して、日本について外見的なものだけでなく、日本人の考え方など内面的なものの理解も深まるることを期待しております。のために、今後も福島県として外国人が住みやすい社会の構築を目指し、財団法人福島県国際交流協会と連携して、外国籍の福島県民のサポートに力を入れていきます。こうしたことを通して、外国籍県民が自立し社会参加できる社会、多様な文化が共生し人々が理解しあう調和した社会、さらには地域において国際交流・協力活動を実践する人材の育成を実現していきたいと考えております。

留学生30万人計画を踏まえ、受入大学や、雇用する企業側も、様々な面での整備や準備が必要となりますが、留学生の受け入れは、大学・企業・地域の発展に寄与することが大きいことから、福島県としても積極的に支援していきたいと思います。

県民一人一人が温かく留学生の方々を迎える、同じ福島県民として、調和した社会を構築していくために、今後も福島県留学生交流推進会議の構成団体の方々の御活躍を心から祈念いたします。





# [推進会議の活動]

- 平成20年度 -



## ■留学生担当教職員研修会

●平成20年10月14日(火) 於:福島大学

この研修会は留学生関係業務の理解を深め、担当者の資質向上と各機関の情報交換を目的として毎年開催されているが、今年度は8機関、14名の留学生関係業務担当者が参加し、福島大学副学長・清水修二氏から「留学生30万人計画について」と題し、計画を実施するための方策、問題点等についての講演をいただいた。講演の後、各機関の留学生の生活支援等についての取り組みや問題点、国際交流についての情報交換を行った。

## ■第15回福島県留学生日本語弁論大会・ 国際交流のつどい

●平成20年11月29日(土) 於:福島市ウェディングエルティ

福島県内の高等教育機関に在学している留学生5カ国14人が言葉・文化・生活などをテーマに体験談を留学生ならではの視点から発表した。審査の結果、東日本国際大学の商国芳さん(中国)が「奇数の国と偶数の国」と題しスピーチを行い優勝した。他の入賞者、詳細については8ページのとおり。

スピーチの後、引き続き「国際交流のつどい」を行い、大玉村「森の民話茶屋」代表の後藤みづほさんによる「福島の民話」が披露され、福島弁理解クイズ大会等を行い、盛況のうちに終了した。

## ■外国人留学生の受入状況調査実施

## ■福島県留学生交流推進会議会報 「福島県の留学生」18号発行

## ■福島県留学生交流推進会議及び 同運営委員会総会

●平成21年1月29日(木) 於:チェンバおおまち

## 福島県留学生交流推進会議要項

### (目的・設置)

第1 福島県内における留学生の円滑な受け入れの促進と交流活動の推進を図り、地域住民の国際理解に寄与するため、福島県留学生交流推進会議(以下「推進会議」という。)を置く。

### (定義)

第2 この要項において「留学生」とは、教育、研究指導を受ける目的で入国し、福島県内の高等教育機関等に留学する者をいう。

### (組織)

第3 推進会議は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 福島県内の高等教育機関(福島大学を除く。)、国及び地方公共団体、経済団体、国際交流関係団体等の長又は代表者1名  
(2) 福島大学長  
(3) その他推進会議が必要と認めた者若干名

### (協議事項)

第4 推進会議は、第1に掲げる目的を達成するために、福島県内の留学生について、受け入れの促進、生活環境の改善及び地域住民との交流等について協議する。

第5 推進会議に議長を置き、福島大学長をもって充てる。

2 議長は推進会議を招集する。

### (会員以外の出席)

第6 議長が必要と認めるときは、推進会議の同意を得て、構成員以外の者を出席させることができる。

### (運営委員会)

第7 推進会議の円滑な運営を図るため、福島県留学生交流推進会議運営委員会(以下、「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会に関する必要な事項は、別に定める。

### (事務)

第8 推進会議の事務は、福島大学学生支援グループにおいて処理する。

### (その他)

第9 この要項に定めるものほか、推進会議の運営等に関する必要な事項は、推進会議において別に定めることができる。

### 附則

この要項は、平成2年2月22日から施行する。

この要項は、平成13年12月13日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

この要項は、平成15年1月30日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

この要項は、平成20年1月24日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

## 福島県留学生交流推進会議運営委員会要項

### (趣旨)

第1 この要項は、福島県留学生交流推進会議要項第7第2項に基づき、福島県留学生交流推進会議運営委員会(以下「運営委員会」という。)について定めるものとする。

### (組織)

第2 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 推進会議要項第3第1号の団体から選出された者  
(2) 福島大学副学長  
(3) 福島大学から選出された若干名  
(4) その他運営委員会が必要と認めた者若干名

### (審議事項)

第3 運営委員会は次に掲げる事項を審議する。

(1) 宿舎確保の促進に関する事項。  
(2) 奨学助成制度の充実に関する事項。  
(3) ホームステイ等の拡充に関する事項。  
(4) 地域住民との相互交流の確立に関する事項。  
(5) その他、推進会議の目的を達成するため必要な事項。

### (委員長)

第4 運営委員会に委員長を置き、福島大学副学長をもって充てる。  
2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

### (事務)

第5 運営委員会の事務は、福島大学学生支援グループにおいて処理する。

### (その他)

第6 この要項に定めるものほか、運営委員会の運営等に関する必要な事項は、運営委員会において別に定めることができる。

### 附則

この要項は、平成2年2月22日から施行する。

この要項は、平成13年12月13日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

この要項は、平成15年1月30日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

この要項は、平成20年1月24日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

## 支援団体紹介

# 郡山市国際交流協会

当協会は平成2年に民間と行政が一体となり、市民を中心に広く外国及び外国出身者についての認識と理解を深め、郡山市の特性を生かした国際交流活動を積極的に行うことにより、活力ある市民生活の向上と国際親善に寄与することを目的として設立しました。

現在、法人会員94社、個人会員317名の会員の方々の御賛同をいただきながら、多種多様な講座や事業を実施し、多文化共生社会の実現へ向け活動しています。

平成5年からは、留学生等が勉学に専念するための安定した環境づくりを図るために、1ヶ月あたり5,000円の住居費の助成のほか、国民健康保険税相当額の助成による支援を始めました。対象者は郡山市内在住で、市内の大学、専修学校、高等学校等に在籍している留学生等です。さらに平成18年度からは、交通事故等にあった場合、給付金を受け取れる市民交通災害共済加入の助成も行っています。

また、市内の留学生の参加をいただきながら開催している「トーク・トーク・トーク～在住外国出身者による日本語弁論大会～」は、今年度で21回目となりました。この事業は、在住外国出身者に、日々勉強している日本語の成果を発表する場を提供し、より学習意欲を高めること、また広く市民に対し在住外国出身者から見た郡山市や日本の生活に関する率直な意見を聞く機会を提供することを目的として実施しており、在住外国出身者と市民との相互理解の促進が図られています。

現在、国においては「留学生30万人計画」が掲げられ、今後ますます留学生の増加が予想されます。当協会では引き続き留学生が勉学だけでなく、地域住民との交流を通して日本の文化や生活について多くのことを学べる機会の提供を図るとともに、今後とも郡山市や市民団体と連携しながら、市民と外国出身者との相互理解が深まるよう交流のための機会の創出に努め、多様な文化を認め合える環境づくりを進めて参ります。



## 理想的な日本の生活

福島大学 共生システム理工学類4年

アルディア ジャヤンティ  
(インドネシア)



日本で生活しているのはすでに五年目であり、特に福島は来年の4月で4年目になったから、私にとっていわば2番目の実家だと感じている。正直にいうと日本の大学に進学することは夢ではなかった。それで、以前日本はどのような国かただ一般的なものしか知らなかった。

私にとって日本といえば電気電子、自動車、アニメ等を思い出した。日本をあまり知識がない私は、日本で生活するのは大変ではないかと不安があった。しかし、実際に生活したら、良かったことにその思いがほとんどなかった。逆に日本での生活は楽しいと思うようになった。日本は綺麗で、非常に快適な交通機関を持ち、つまり日常的な生活はそれほど困ることがなかったと思っている。楽観的で生活していたから、最初の1年半の生活は楽で過ごしていた。慣れていない習慣があるけれど、それはただの生活のルールだと考え、それを守るだけで良いと思っていた。例として:ゴミの分別、外国人にとってゴミ分別が難しいだろうが、面倒くさいと思う人が少なくないだろう。最初は燃えると燃えないゴミの分別の迷いが多かったけれど、日々やってみたらすぐに慣れるようになった。

初めて夏休みでインドネシアに帰国した時、日本での生活はインドネシアで普通ではないのに気がついた。逆に、インドネシアへ帰国した時カルチャーショックを感じた。かつて、散らかしているゴミを見る時に無視することができ、現在はゴミ箱にゴミを捨てな

い人を見ると本当に見てはいられないことである。それは日本に生活しているおかげだと思っている。

私にとって一番困ったことは食事のこと、毎日の食事はほとんど自炊である。寿司、刺身、天ぷら以外は食べられない食べ物が多数ある。宗教上の理由で多くの日本料理が食べられないわけである。日本の食べ物が“目で食べる”よく言われていて、店やレストランにある日本の食べ物は食べたくても食べようがない。それで、食べたい時にインターネットでレシピを探し、材料を調整し、自分で作ることにする。要するに、私にとっては日本で生活する時に一番困っていることは食事のことである。それは好き嫌いのことではなく、宗教上で禁止されているからやらざるを得ない。食事のこと他、私にとって日本での生活は本当に理想的(?)な生活だと思っていた。

来年の3月に卒業予定であり、その後帰国することにした。インドネシアで就職する予定だから、日本で慣れるようになった習慣をインドネシアでも続けていきたいと思っている。

大学で勉強したことをはじめ、日本で生活している間に身についたことをインドネシアの文化や社会に適用しながら、周りの人にも伝えたいと思っている。例として:ゴミの分別のこと、時間を守ること、ルールをきちんと守ること等すべて周りの人々に伝えたい気持ちが強い。今まで経験と学んだことを無駄にならないようにインドネシアで活用したいと思っている。この5年間貴重な経験をさせられ、きっと素敵なものになる。



INDONESIA



## うるさいのはどっち?

福島工業高等専門学校 機械工学科4年

シャワル (マレーシア)

福島高専に入ったばかりの頃、日本の一一番不思議な習慣はなにかとクラスメートに聞かれました。日本に来て数日しかたっていなかったので、なかなか答えられなくて、東京駅のホームで電車を待っていたときに見たことを話しました。電車がホームに入ってきてドアが開くと、降りてきた人達が走り出しました。男性はスーツのまま、競争みたいなスピードで走っていました。日本人が時間を守ることは知っていましたが、私の国では遅れてもこんなに激しく走る必要はありません。本当にびっくりしました。

それから日本の生活に慣れ、日本のいろいろな習慣を学びましたが、どうしても納得できない不思議な習慣があります。それは「電車やバスの中で携帯電話で話すのは失礼だ」とされていることです。ある日先輩と食事に行く途中、バスの中で携帯がなったので、私は大声ではないものの周囲の人によく聞こえるような声で話をしました。近くにいた人達がいやな顔をして、私を見ていたのにも気がつきませんでした。バスを降りてから、先輩に注意されました。

ほとんどの日本のバスは携帯電話使用についてのアナウンスがあり、「携帯電話はマナーモードにしてください」「使用はご遠慮ください」という注意もあります。バスの中で携帯電話を使うのは失礼だし、周囲の人には迷惑をかけないようにするという理由もよくわかります。でも、友達と

大声でしゃべったり、笑ったりするのはどうでしょうか。時々、バスの中で友達とふざけて、うるさくしている人を見たことがあります。これは携帯電話で話している人よりも声が大きくて、周囲の人も迷惑しているはずです。でも、不思議なことに「バスの中で静かにしましょう」という注意はありません。

私としては、携帯電話だけが人に迷惑をかけるという考え方には賛成できません。駅のホームをものすごいスピードで走る人達も、お年寄りや周りの人にとって危険だと思いますが、毎朝、よく見かける習慣のひとつになっています。日本に来て1年たちましたが、携帯電話だけが厳しく注意されることは、とても不思議です。今住んでいるところは自分の国ではないから、気がつかないうちに日本の習慣に従わないこともあります。ですから、これからも学びながら注意していきたいと思っています。



MALAYSIA



## 日本と私の 不適切な(?)関係史

福島大学 韓国外国語大学校交換留学生

甘 東勲 (韓国)  
カム ドン フン



今年満23歳、韓国の男。今まで「日本」という国は私にいたいどんな存在であったろうか。この文は、あくまでも「甘東勲」という人間の個人史。その中でも「日本」との関係史である。

### 小学生のときの記憶

学校から帰ってくるなりランドセルを投げ、「スーパーマリオブラザーズ」を夕方までやって、テレビで放送されている「SLAM DUNK」を見ながら晩御飯を食べていた。ご飯を食べてから机に向かい、勉強するふりをしながら「DRAGON BALL」を読んでいた。時々、父に読んでいることがばれ、怒られた。でも読み続けた。おもしろいから。

### 中学生のときの記憶

歴史の授業で韓国と日本の過去の関係を知り、怒りと悲愴感を感じた。それから、韓日戦のサッカーは興奮しながら見ることになった。そしてある日、学校で近くの公園に遠足に行った。その公園には修学旅行で来ていた日本の女子高生がいた。当時、思春期だった私は、女子高生のスカートの短さにショックを受け、眠れない夜が続いた。

### 高校生のときの記憶

高校2年生のときの冬、偶然出会った一本の映画。その映画は岩井俊二監督の「LOVE LETTER」である。韓国では「お元気ですか」で知られているこの映画は、私の人生を変えた。「日本語科に行こう」と決心。それから、ずっと私は日本の映画が好きだ。今、振り返ってみると、「日本語科」ではなく、「映画科に行こう」と決心しなかった自分が不思議である。そして、大学受験中は日本のアイドルから力をもらひながら

ら、無事に志望した韓国外国語大学の日本語科に入学することができた。

### 大学生のときの記憶

大学が本格的に始まる前に新入生オリエンテーションをする。外国語大学という特性はこの時發揮される。各科の学生代表は、自分が専攻する言語を使っている国の国旗を振る。ドイツ科ならドイツの国旗を振り、中国語科なら中国の国旗を振る。ところで、日本語科は国旗ではなく、お城を背景としていて、桜の花びらが舞う絵が描かれた旗を使う。「日の丸」は韓国ではタブーである。

そして、大学2年間、図書館で日本語と闘った。小説『雪国』の「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」は今も覚えている文章である。その後、軍隊に入り、兵役を終えた。

### 福島での記憶

私は今年の4月、福島にやってきた。終わりの見えない日本語との勝負の日々。やさしい人々に恵まれ、この戦いをサポートしてもらっている。しかし、1つ不満がある。私、「甘東勲」という人間より韓国人ということをまず見ていることだ。「甘東勲」という人間を国籍が左右することは少し悲しい気がする。国のことより、私のこと、あなたのことについて話し合おう。国や言語は人間と人間の間の一つの壁だと思う。大切なことは、人間に対する「誠」だ。一緒にこの壁を壊す人は手を挙げてください。

私は2009年3月に日本を後にし、韓国に帰る予定である。これから、私と日本の関係はどうなるのか。楽しみだ。



## 大好きな日本。 だから…

東日本国際大学 福祉環境学部1年

ウンレタンタオ (ベトナム)

いのに、こっそりお酒を飲んでいる人もいます。私にとってこれは大きなカルチャーショックでした。なぜかというと、ベトナムの女性はそんなことをしたら、周りの人に「悪い女だね。」と批判されてしまうからです。

ある日、居酒屋のお客さんに「人間は、お酒を飲まない、タバコ吸わないと、終わり。つまらなくて、楽しくないじゃない。」と言われました。しかし、私はお酒がなくても、タバコがなくても、家族や友達がいるから、つまらないとは思いません。

もう一つ、私は気になってしまふことがあります。どうして日本の女性は毎日外に出る前に、何時間もかかってお化粧するのかなということです。先生に質問すると、「相手に対して失礼ならないように、身だしなみ。」と教えてくれました。しかし、ベトナムと違い、日本の中学生はまだ子供なのに、化粧したり、大人と同じ歩き方も話し方も練習したりしています。そして、学校の授業中に先生の話を聞いていないで、化粧に集中している生徒たちもいます。これは本当に理解できません。これも身だしなみなのかなと、まだちょっと納得がいきません。

今年、私はいわきの大学で社会福祉を学び始めました。もちろんアルバイトもしています。これからも、私がまだ知らない



いベトナムと日本の文化の違いに触れる機会が、たくさんあると思います。少しづつ、大好きな日本を知っていく日々にワクワクしています。でも、芋の皮むきだけは、今でも日本式がなかなか身に付かずベトナム式に外側へ向かって包丁を使わなければできません。留学中になんとしても日本式をマスターしたいです。そして、相手の身になって思いやりのある日本のすばらしい文化をベトナム人に紹介したいと思います。

KOREA

Vietnam

# 福島県留学生 日本語 弁論大会



## 第15回

### 福島県留学生 日本語弁論大会

平成20年11月29日(土)、福島市のウエディングエルティで開催されました。県内の大学4か所から、5カ国14人の留学生が、日本での生活・言葉・文化等について、体験から感じたことを発表しました。

出場校:会津大学、東日本国際大学、福島県立医科大学、福島大学



#### 福島県留学生日本語弁論大会審査結果

##### 優勝

東日本国際大学  
**商 国芳** しょう こくほう(中国)

●演題  
「奇数の国と偶数の国」

##### 準優勝

東日本国際大学  
**イイモン** (ミャンマー)

●演題  
「想像とちがつた日本」

##### 第3位

福島大学  
**干 文蓉** うぶんよう(中国)

●演題  
「日本、ありがとう」

##### 福島県アジア友好協会特別賞

福島大学  
**李 瑞** りずい(中国)

●演題  
「日本、初めて」

##### 福島県アジア友好協会特別賞

会津大学  
**王 詩洋** おうしよう(中国)

●演題  
「最初の1ヶ月」

##### 第15回日本語弁論大会特別賞

福島大学  
**ソン スンファン** (韓国)

●演題  
「自分らしさって何だろう」



去年の9月、留学許可通知を受け取りました。それからじっくりカレンダーを眺めて、最終的に10月16日、旧暦の9月6日に日本へ旅立つことを決めました。この日は新暦でも旧暦でも末尾の数字が「6」です。なぜ私はこの日を選んだのでしょうか。

留学してからの、このごく短い1年の間には、新鮮で驚くことがたくさんありました。アルバイトをしている日本料理屋で日本人の友だちと好きな数字について話したことがあります。彼は7が好きだと言うので、私はびっくりしました。「どうして」と聞くと、「ラッキーセブンだから」とのことでした。しかし、中国人にとって、「7」の発音は腹を立てるという意味にも通じます。私はその時、初めて日本人は奇数が好きだということを知りました。実は、中国人は逆に偶数が大好きなのです。日本と中国は一衣帶水の隣国ですが、数字に対してどうしてこのような大きな感覚の違いがあるのでしょうか。

日本では、「4」は死を連想させるので、縁起がよくありません。中国にもそのような考え方もありますが、4を二つ重ねれば、「事事」となり、「何でも思い通りになる」というよい意味になります。「6」は「流」と発音が同じで、「ものごとが順調に進む」という意味になります。だから、何か新しいことをはじめる時は、「6」のつく日がいいとされています。みなさん、私が10月16日に出発の日を決めた理由は、もうおわかりですね。「8」は、日本でもその字形から「末広がり」の意味になりめでたいです。中国では、「8」は「發」の発音とほぼ同じになることから、「發財」を連想し、「金持ちになる」という意味になりやはり縁起がいい数字です。ですから、中国では車のナンバーを「1688」つまり、「一路發發」とする人が多いです。意味は「走れば走るほどよい」となります。

中国の料理も偶数のお皿が並べられます。料理4品にスープひとつというのが中国料理の定番です。偶数だとバランスがとれていて、一家団欒のイメージがあります。これに対して、日本では「一汁三菜」が代表的な料理で、それからお正月の七草粥、さらに五目そば、五目ごはんなどと、料理は奇数が目立ちます。

## 奇数の国と 偶数の国

東日本国際大学 留学生別科  
**商 国芳**  
ショウ コク ホウ (中国)



それでは、なぜ日本人は奇数が好きで、中国人は偶数が好きなのでしょうか。

このことを考える時、思い出すことがあります。以前アルバイト探しの面接の時に、「今あまり忙しくないから、後ほどご連絡します。」と言われたことがあります。私はしばらくの間、断られたことに気がつかず、ずっと電話を楽しみに待っていました。最初はこうしたあいまいな言い方に慣れずに、ずいぶんと悩んだものです。しかし、今では、あいまいな表現は、実は含蓄があるんだと思うようになりました。この含蓄がある表現こそ、日本人の奇数好みと関係していると思います。奇数は二で割り切れません。偶数は二で割ると、すっきりした答えが出ます。中国人が偶数を好むのは、何に対しても自分をはっきりさせたいと思うからです。割り切れる偶数は中国人の考え方とピッタリ合っているのです。一方、日本人はまず相手のことを思い、相手に気まずい思いをさせまいと、断定的な言い方を避けます。それがあいまいな言い回しになり、割り切れない奇数にも通じる配慮になるのだと思います。

こう考えると、はっきりしない日本人の態度やものの言い方も、思いやりの気持ちからそうなるのであって、あいまいな表現にも少しだけ心地よさのようなを感じます。

いちばん身近な数字を比べてみるだけで、日本と中国はこんなにも異なった見方があります。グローバル化が進む今日、地球はひとつの村となり、各国の人々同士の交流もますます盛んになっていくでしょう。私たちは偏見をなくし、お互いの立場に立って、その文化から理解していくという気持ちこそが、これからは何より大切なことになっていくと、私は思います。



## 想像とちがった日本

東日本国際大学 留学生別科  
イイモン  
(ミャンマー)



2008年3月、私は日本にやってきました。成田空港に到着すると、友だちが迎えに来てくれていました。私はまず、東京の仏像を拝みに行きました。私の国、ミャンマーは仏教国です。私は、日本のお寺に行って、最初に日本の仏教の様子を見ておこうと思いました。仏像は、着ている服は少しがいますが、ミャンマーと同じお顔でした。日本の仏像はたくさん服を着ています。ミャンマーは暑いから、仏像の服は薄着です。また、お寺に飾ってある仏画も、ミャンマーと同じものなので、とても感動したのが日本の第一印象でした。お賽銭に100円玉を入れて、これから始まる日本の生活が順調にいきますように、と日本の仏様にお願いをして、私の日本生活は始まったのでした。

東京は大都市ですね。どこへ行くのにも、電車や地下鉄を使わなければなりません。一日中電車に乗るから、お金がたくさんかかるなあと心配になりました。物価もぜんぜん違います。日本の1円を国に持っていくと、120円になります。120円あれば、マンゴーでもバナナでも山ほど買うことが出来ます。しかし、日本ではマンゴー山盛りの値段で地下鉄はひと区間しか乗ることができません。物価の違いは私たちアジアの留学生には深刻な問題です。何にでもお金がかかる、というこの東京での印象こそが、私に日本の生活ではたくさんお金がかかるということを理解させました。

日本に来たばかりのある日、私は喉が渇いて水が飲みたくなりました。どこに水があるのかと友だちに聞くと、友だちは私を公衆トイレに連れて行きました。そして、水道から蛇口をひねって水をくれたのです。びっくりしている私を見て、友だちは、「そのまま飲んでもいいよ」と言いました。トイレの水道の蛇口から出た水を飲む?私の国の常識では考えられません。あまりに驚いて、飲むのをためらっていると、友だちは気がついて、「日本人の人は、みんなこうして水を飲むんだよ」と教えてくれました。おいしくない水をどうやって飲むのだろう、と私はさすがにその時飲めませんでした。私の国では水道水は飲みません。ましてやトイレの水は飲みま

せん。後で母に電話をすると、絶対に飲んではいけないと注意されました。しかし、今、大学では、ミャンマーの友だちも留学生仲間もみなトイレの水を普通に飲んでいます。私も、もう飲むようになってしまいました。いわきの水は、東京よりもおいしいです。トイレの水道水もおいしいです。日本に来て半年、日本の水にも慣れて、私は日本の習慣や文化に徐々になじんできています。

お米にも驚きました。私の祖国のものとちがうのです。日本のお米は短くて水っぽい。私の國のお米は長くてさっぱりしています。ぜんぜん違うのです。日本のお米はおいしいです。しかし、困った問題があります。日本のお米は食べると太ってしまうのです。ミャンマーのお米はさっぱりしている分、いくら食べても太りませんでした。私は日本のお米がおいしいので、ついつい食べ過ぎてしまいます。ダイエットも気になる年頃なので、おいしいお米は私の悩みの種です。日本の女の子はスリムな子が多いので、お米をどうやって食べているのか、これは今後の研究テーマです。

今私が住んでいるいわきは、日本の東北地方です。ミャンマーと気候が似ています。あまり暑くもなく寒くありません。日本人は、ここを「東北の湘南」と言います。湘南というのは、東京近くの海辺の町だそうです。飛ぶ鳥も、生えている木の種類も私の国とは違います。しかし、私はいわきを自分の国の中のように思っています。

いわきは季候がよく、学生たちも先生方もみな優しく親切だから、故郷のことを思い出させるのかも知れません。

日本の朝七時は、ミャンマーでは朝四時半です。この時差のため、私は最初起きられませんでした。夜の時間もちがいます。何より、ことばがぜんぜん違うから、最初は本当に大変でした。

とりとめのない、私の日本上陸の印象をたくさん話しましたが、私は、日本語をもっと流ちょうに話せるようになり、ミャンマーと日本がもっと仲良くなれるようにがんばりたいです。ご静聴ありがとうございました。



## 日本、ありがとう

福島大学  
干 文蓉  
(ブン ヨウ (中国))



「うーたん、おはよう! 今日も一日元気に頑張ってね!」携帯を開けると、ここ日本でできた大切な友人の一人「きよみたん」からのメールが入っていました。そうです。私は、「うーたん」です。私の名前は「う文蓉」と言います。私は、2年前に日本にやってきました。そして、この場で皆さんに、私が日本で経験してきた勉強になったことや楽しかったこと、大変だったことを伝えたいと思います。

まずは、アルバイトについて話したいと思います。最初の仕事は、皿洗いでした。これは、とても大変な仕事でした。話す暇がないほど忙しく、一人で山のようなお皿を洗ったときは、他の人に見られないようにこっそり泣いてしまいました。その後、私はその仕事を辞めてしまいました。しかし、今、振り返ると、それは間違っていました。次の仕事は、居酒屋さんのホールの仕事です。最初のころ、アルバイトを始めてやる私は何も分からなかったため、邪魔になってしましました。そのため、店長に「お前、出て行けよ!」と言われたこともあります。その瞬間、私の自尊心はひどく傷つきました。思わず涙ぐんでしまいました。でも、私はめげずに働き続けました。なぜなら、そのとき私は、仕事ができなくて怒られるのは当然だということを、理解したからです。確かに最初は、とても辛いです。でも、仕事をきちんとこなせるようになれば、皆は私を認めてくれます。「皆に認めてもらえるように、頑張ろう!」と、私は決心しました。「お前は一人前になったよ!」と店長に褒められた時は、心の底から嬉しかったです。こうして、私は「難しく思えることでも、全力で頑張れば、結果はおのずとついてくること」が分かったのです。大変でも、あきらめずに粘り強く頑張っていけば、それはちゃんと自分の未来へつながっていくのです。そして、その未来はきっと素晴らしいものになるのです!この体験は、私に大きな教訓を与えてくれました。「人生も同じだ。常に前を見て、あきらめずに努力していけば、道はおのずと拓けていくものだ!」

次に挙げるのは、日本の礼儀です。ここでは、私の印象に残った礼儀を紹介します。一つ目は、買い物に自転車

で行ったとき、自動車の運転手に交差点で道を譲ってもらったことです。その瞬間、私の心はとっても暖かくなりました。二つ目は、銀行に行き、ドアを開けようとしたとき、前の人があわざわざ、ドアを開けて待ってくれました。「なんで、そこまでしてくれるのかな?」と思うと同時に日本人の礼儀やマナーはすごいなあ、と感心しました。それは、他国の文化を知るという点で、大変、勉強になりました。私は、日本で生活していくなかで、「いつでも、相手の気持ちを考えて、皆と仲良くすること」の大切さを学びました。

最後は、日本で知り合った人々です。ここ日本で、私にはたくさんの友達ができました。皆、優しくて、いろいろと助けてくれました。福岡で知り合った「きよみたん」は、私が福岡を離れる1か月前に、あちこちに連れて行ってくれました。「うーたんにいい思い出をたくさん、たくさん作ってあげたい」と彼女は言ってくれました。その時、私は一人で異国にいるのに寂しいどころか、自分は幸せ者だと感じました。そして、ここ福島に来てから、私には「日本の母」ができました。鈴木さんという女性です。彼女にも大変お世話になりました。「夜勤、頑張れ! うーちゃん」と書いた手紙とともに、差し入れを貰ったり、「うーちゃんにとって、今日もハッピーな一日でありますように!」というメールを送ったりしてくれました。このような気遣いが、私には涙が出るほど嬉しかったです。日本に来て、多くの日本人と接するうちに分かったことがあります。人間はいつでも他人に優しく笑顔で接すれば、世界はとても美しいのです。相手も自分も幸せな気分になります。人間関係がどうやったらうまく行くのか、それがよく分かりました。

日本にいるこの二年間のうちに、私はたくさんの経験をしました。そして、人として大きく成長することができました。「きよみたん、鈴木さん、そして、私に親切に接してくれたみんな、ありがとうございます」そして、「日本、ありがとうございます」

御静聴ありがとうございました。



## 日本、始めまして

福島大学  
河北大学交換留学生

**李 瑞**  
リ ズイ(中国)



2008年3月29日、初めて家を離れて、初めて飛行機に乗って、初めて日本にきました。その日の記憶は昨日のことのようにはっきり頭に残っています。飛行機は降下していました。かすかに青い日本海が見えるようになって、地図での細長い島がだんだん大きくなってきました。日本時間3時30分、仙台につきました。大きな荷物をもって、空港を出ると、柔らかな風が吹いていて、空に太陽がきらきらしていました。この目の前の国を見て、私はこれから的一年間この国と付き合うのだと思って、興奮しながら、心の中で「日本、始めまして」と言いました。

日本に来て、初めて桜を見ました。3月末に来たので、そのときから、桜前線のニュースは天気予報より頻繁に報じられていました。桜は春の便りを持った伝書鳩のように、南から北へ日本全国を通り抜けます。九州、四国、関東、東北、いよいよ福島にきました。私はやっと「桜の国」の桜と会いました。その花の海に驚きました。時には、一陣の風が吹きつけ、花びらを舞い上がらせました。人々は桜の下で、花びらが乱れ散る光景を見ながら、食べたり、歌ったり、話したりして、楽しんでいました。ほんとにうつとり光景でした。ところで、桜の命が短いですが、パッと咲き、パッと散り、美しく咲き、静かに散ります。一生を華やかに生きます。だからこそ、日本人は桜が大好きなのでしょう。私は顔を上げて、そのやっと来た華やかに生きている桜を見て、心の中で「桜、いらっしゃい」と言いました。

日本に来て、初めて日本の大学に入りました。日本の大学を知るのは入学式からです。4月の時、新入生と同じように、スーツを着て、広い会場に並んで、歓迎の言葉

などを聽きました。中国の場合と違って、多くの新入生の父母も出席しました。ちょっと新しい環境に心配しながら、スーツを着ている子供たちの晴れ姿みて、喜んでいるようでした。入学式が終わり、みんながばらばらになりましたが、同じように明るい笑顔をしていました。頑張って新しい友達と付き合って、新しい環境に慣れ、新しい大学生活を迎えていました。私はこのような活気に溢れる大学で一年間の留学生活を送ると思って、心の中で「福島大学、よろしくお願ひします」と言いました。

時間とは速いものです。日本で、春、夏を送って、いまはまだ秋に包まれていますが、冬がこっそりそばにやってきました。先日もう初雪を迎えました。4月の桜色に染まった花見山は雪で白くなりました。初めは不慣れだった、大学への道も今は当たり前のようになりました。いろいろな初体験を振り返ります。初めて日本料理を食べて、初めて温泉に行って、初めて祭りを楽しんで……こちら様々な初体験のおかげで、私は少しずつ日本と親しくなって、たくさん勉強になりました。一年間の交換留学はそろそろ終わり、間もなく帰国します。でも、日本に対して、私は「さよなら」ではなく、「日本、ありがとうございました」と言います。



## 最初の1ヶ月

会津大学  
大学院

**王 詩洋**  
オウ シ ヨウ(中国)



このスピーチは、日本での最初の1ヶ月の見たことと思ったことです。

日本に来てから、もう1ヶ月経ちました。今会津大学の近くのアパートに住んでいます。日本らしい生活で暮らしています。毎日応接間のコタツの周りに、布団の上で座って、テレビを見ます。寝室で、ベッドじゃなくて、畳の上で寝ます。漫画が好きですから、「サンデー」とか、「ジャンプ」とか、よく買っています。物価の高さも少しわかりました。毎日、新聞と一緒に折り込み広告を読んで、近くの割引をしているスーパーに行きます。日本の生活に慣れたみたいですが、納豆は絶対に無理です。自分で食べたことがありますけれども、友達が「怖いものだ」と言ったから、食べてみる勇気が出せません。

さて、1ヶ月前の私の生活を話します。

日本で技術を勉強して、将来日中の架け橋になりたい私は、日本に来る前にずっと思っていました。日本は一体どんな国だろうか。結局、好奇心を持って、日本に着いたその日、ほとんどの時間が電車と新幹線にかかりましたから、日本はどんな国か、さっぱり分かりません。でもひとつことを分かっています、「私は、今、確かに日本の土を踏みました」。

その日からの一週間、温泉旅館で泊まりました。中国から、急に、日本の伝統の温泉旅館で泊まつたのは、新鮮な感じいっぱいがありました。全然なれませんでした。まず、正座が苦手です。それに和食も、はじめて和食を食べる時、どうやって食べるのかさえわかりません。

翌日、旅館から出かけて、いろいろなことを見ました。「あ~、これは日本だ」と深く感じました。「日本人はやさしいな、いつも笑顔で」、「日本の車、左で運転するか」、「このテレビはアニメが意外に少ないな」。このような発見は、その日から毎日増えています。知ることも毎日増えています。

旅館の歓迎会で、「おばんで」という方言を学びました。そして自己紹介のとき、「おばんでございます」と言いました。みんな笑いました。これは、会津若松ではじめて勉強したことです。また、会津若松で、「野口英世」という名前をよく見ます。「え~、まさか、この人は1000円札の人じゃないか」と考えていました。後でわかりました。野口博士は、日本で「医聖」と言わされた有名な医者です。皆彼を尊敬するため、夏目漱石さんの代わりに彼の像を使っています。でも夏目さんはちょっとかわいそうですね、私は「吾輩は猫である」が大好きなのに。

温泉旅館での最後の日、鶴ヶ城と日新館に行きました。会津若松は歴史上有名なところをよくわかりました。特に日新館、日新館の名前は「毎日新しく進歩、成長がしたい」という意味があります。留学生として、毎日もっともっと一生懸命頑張らなければなりません。

瞬く間に、1ヶ月がたちました。会津若松が好きになりました。この1ヶ月は、将来きっといい思い出になると信じています。これから、自分の夢のために、日本で新しい未来を創ってみます。





## 自分らしさって何だろう 福島大学 ソン・スンファン (韓国)



最近‘自分らしさ’という言葉をテレビでよく耳にします。私は私自身の‘自分らしさ’とは何だろうと考え始めた時に、子供の頃のある事を思い出しました。

子供の頃にテレビを観て、なりたくない大人がいました。それは、自分の利益のために人を利用したり、そして、自分に必要ではないと思う人には一切気を配らなかつたりする卑怯な大人です。ところが日本に留学してからの私はそういう卑怯な大人になっておりました。

私が福島大学に入学する前に一つ心掛けたことがあります。それは同じ国の人である韓国人を避けるということでした。あの時は、せっかく日本に来ていることだし、出来るだけ日本語を使うことが自分のためになると思っていました。そしてこれが間違っていたとは迂闊にもその時は気づいていなかったです。

人を避けるという考えはどんどん私を卑怯な大人に変えてきました。最初、福大の韓国人同士の飲み会の時、私だけが浮いて、あえてその場の雰囲気を楽しもうとしなかった事があります。そしてある日、韓国人の友だちから‘何でそんなに一人だけ交わろうとしないの?’と聞かれた時に‘どうせ卒業したら会わない関係だから’と答えた事もあります。



これとは反対に日本人になるべく積極的に話しかけたり、親切に接したりしていました。韓国人には冷たい自分、日本人には優しい自分、二人の自分を演じていたんです。そして、いつの間にか私はどんどん、人にどういう風に見られるかばかり考えたり、不器用な自分を隠そうと何とか器用に立ち振る舞う自分に変わっていました。卑怯で臆病な自分に…

そんな中、飯坂で行われた‘けんか祭り’に参加しました。あの時は色々な国の人々がいて、韓国からは私をはじめ、福島にインターンシップのために来ていた韓国の大學生たちが来ていました。私は彼らに挨拶もしないで、無視していたところ、突然、彼らから声をかけられました。何となく会話を交わしている内に一人の学生が不機嫌そうだった私に聞きました‘異国で同じ国の人と違うと嬉しいですか?’と。私はその時、すぐに答える事は出来ませんでした。ただ、心の中で密かに‘嬉しいです’と答えている自分がいたんです。私は気づきました。今までの私自身の‘自分らしさ’は子供の頃になりたくないと思っていた大人で、それが間違っていたと。

今回、私自身の‘自分らしさ’を考える上で、一つ気づいた事があります。‘自分らしさ’を発見することに当たって大事なことは、まず‘自分に偽りなく、自分に真っ直ぐであること’こうした心的態度が必要だということです。

私は間違っていた自分を反省して変わっていきたいと、そしてまた私自身の‘自分らしさ’を発見したいと思います。来年のこの場ではそうした変わっていく自分がこれから日本で経験した楽しい話を皆さんにお聞かせたいと思います。

ご静聴、ありがとうございました。

## チューターからフレンドへ ～笑顔の温かさ～

福島大学 行政政策学類2年

宮 登希子 Tokiko Miya

仕事であるから」「サチのためにしてあげている」という気持ちが強かったように思います。なので、大学内や福島駅周辺で見かけた時に気軽に声をかけるということがなかなかできませんでした。

そんな私の気持ちが変わったのは、夏休みにクイーンズランド大学短期語学研修に参加したことがきっかけでした。初めて外国生活を体験したことにより、サチが日本で生活することの大変さを改めて理解することができました。また、ホストファミリーや、授業で知り合ったクイーンズランド大学の学生はいつも笑顔で話しかけてくれたことから、慣れない空間の中で、笑顔で話しかけられることのうれしさを、身をもって実感することができました。

もっとサチと仲良くなりたい…新しい気持ちが芽生えたことにより、研修後のサチのサポートや交流は‘してあげている’というような気持ちがなくなり、むしろまた一步サチと仲良くなれるという喜びの気持ちに変わってきました。そして、語学研修の時に出会ったホストファミリーや学生のような笑顔でサチと接している自分がいました。

もちろん授業や生活面のサポートをするため、リードしていくことも必要、だけどなにより仲良くなりたい、友達になりたい、そのような気持ちが重要なんだ、笑顔は国を越えて人の心を温かくするんだ、など多くのことをチューターの活動を通して知ることができました。サチが帰国するまでまだまだ時間があるので、もっとチューターの枠から外れた、フレンドになっていきたいと思います。サチよろしくね！



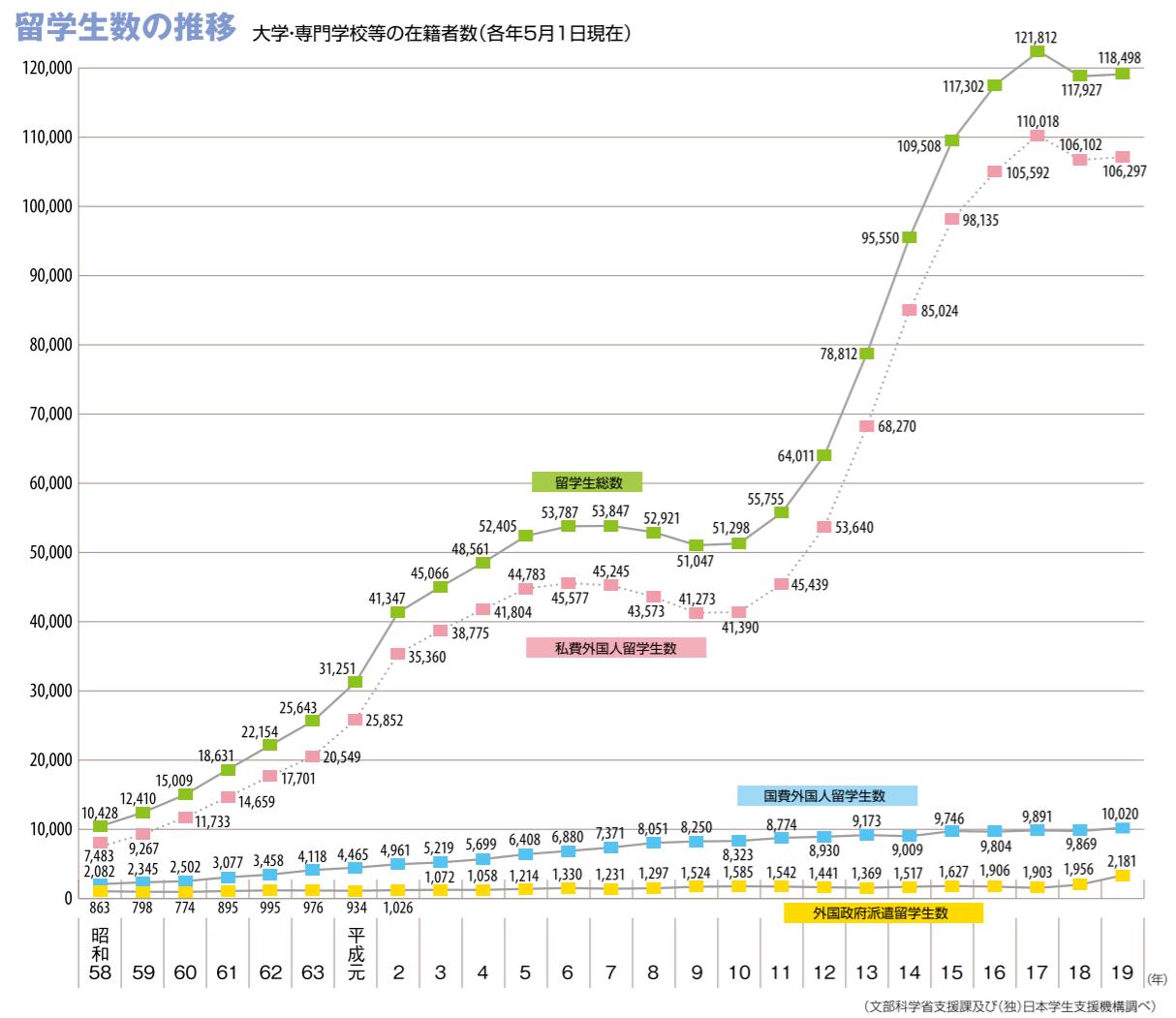
JAPAN

## 留学生関係資料

## 外国人留学生受入れの現状

我が国の大学等で学ぶ留学生は、平成19年5月1日現在118,498人で、平成18年に比べ571人(0.5%)増加した。これを見ると、我が国の地理的、文化的な状況もあり、アジア地域からの留学生が全体の約9割を占めている。

また、我が国の日本語教育機関で学ぶ学生は、平成19年7月1日現在31,663人で、平成18年に比べ1,056人(3.5%)増加した。出身地域では、中国・韓国及び台湾からの学生が全体の約8割以上を占めている。



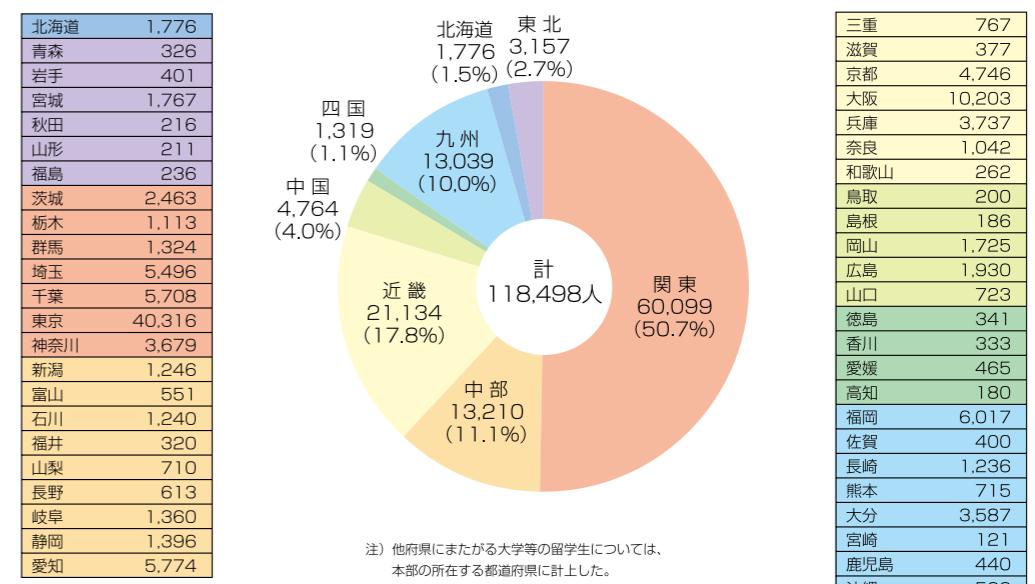
## 出身国・地域別留学生数

\*大学・専門学校等の在籍者に限る(平成19年5月1日現在)  
( )は国費外国人留学生数を内数

国・地域名	留学生数(人)
中國	71,277 (1,750)
韓國	17,274 ( 976)
台灣	4,686 ( - )
ベトナム	2,582 ( 546)
マレーシア	2,146 ( 254)
タイ	2,090 ( 576)
アメリカ合衆国	1,805 ( 137)
インドネシア	1,596 ( 666)
バングラデシュ	1,508 ( 486)
ネパール	1,309 ( 125)
その他	12,225 (4,504)
計	118,498 (10,020)

## 地方別・都道府県別留学生数

大学・専門学校等の在籍者に限る(平成19年5月1日現在)

福島県内高等教育機関における  
外国人留学生の受け入れ状況

## 国費・私費別外国人留学生数

(平成19年10月1日現在)

留学生の所属大学等区分	福島県立医科大学	会津大学	会津大学短期大学部	奥羽大学	日本大学工学部	郡山女子大学	郡山女子大学短期大学部	明星大学	東日本国際大学	いわき短期大学	福島学院大学	福島学院大学短期大学部	桜の聖母短期大学	福島工業高等専門学校	福島大学	計	%	
文科省国費	2	3													4	2	11	4.1
政府派遣			1												8		9	3.4
県費															1		1	0.3
私費	5	24			4	2			77		4		1		128	245	92.1	
計	7	28	0	0	4	2	0	0	77	0	5	0	1	12	130	266	100.0	

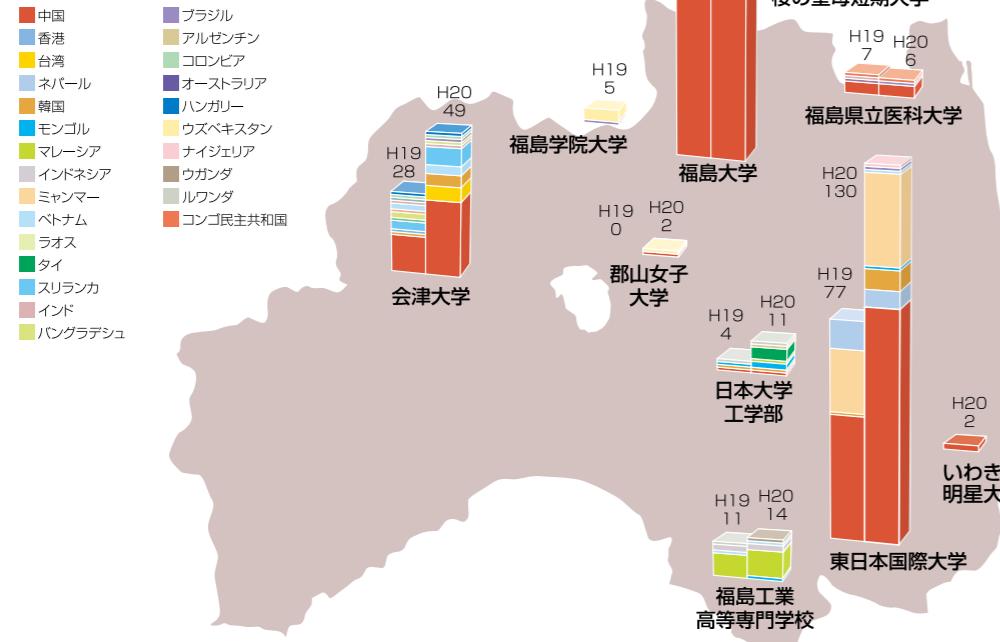
(平成20年10月1日現在)

留学生の所属大学等区分	福島県立医科大学	会津大学	会津大学短期大学部	奥羽大学	日本大学工学部	郡山女子大学	郡山女子大学短期大学部	明星大学	東日本国際大学	いわき短期大学	福島学院大学	福島学院大学短期大学部	桜の聖母短期大学	福島工業高等専門学校	福島大学	計	%	
文科省国費	1	12													5	3	21	6.0
政府派遣					4										9		13	3.7
県費	1	1			1										3		0.8	
私費	4	36			6	2		2	130						134	314	89.5	
計	6	49	0	0	11	2	0	2	130	0	0	0	0	14	137	351	100.0	

## 留学生関係資料

## 福島県内高等教育機関における 外国人留学生の 受け入れ状況

各年10月1日現在

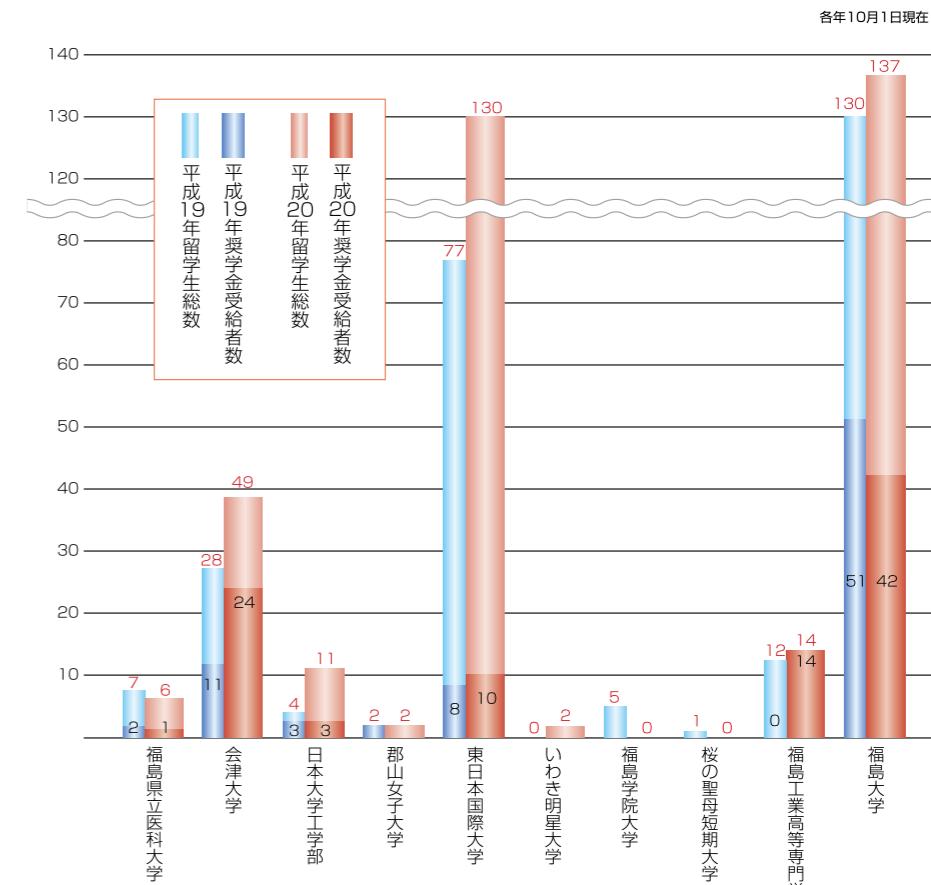


## 国・地域別外国人留学生数

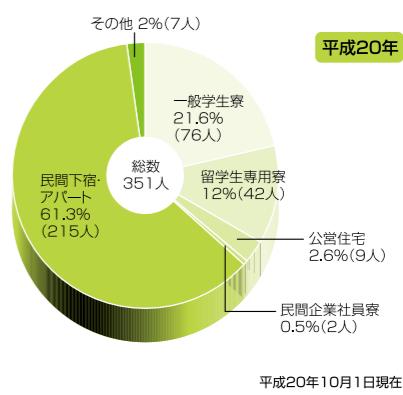
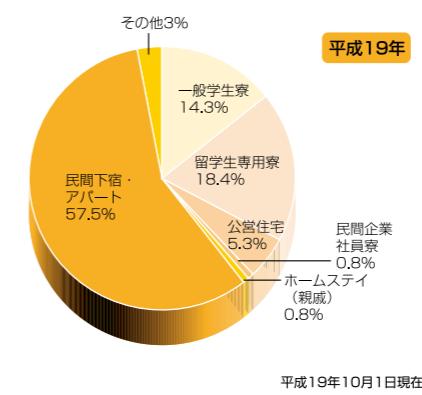
所属大学等	福島県立医科大学	会津大学	日本大学工学部	郡山女子大学	いわき明星大学	東日本国際大学	福島工業高等専門学校	福島大学	合 計	地域別割合
ア ジ ア	中 国	4	26	1	1	2	82		115	231
	香 港							1	1	
	台 湾		5							5
	ネ パ ー ル						6			6
	韓 国	4	1			7		8	20	
	モ ン ゴ ル		2			1	1	3	7	
	マ レ ー シ ア		1				9		10	
	イ ン ド ネ シ ア						2	1	3	
	ミ ャ ン マ ー				31				31	
	ベ ト ナ ム	3				1	1	7	12	
	ラ オ ス							1	1	
	タ イ		4						4	
	ス リ ラ ン カ	6							6	
	イ ン ド	1							1	
	バ ン グ ラ デ シ ュ	1							1	
中 南 米	計	4	46	9	1	2	128	13	136	339
	ブ ラ ジ ル	1	1				1		3	1.4%
	アルゼンチン		1					1		
	コ ロ ン ビ ア		1					1		
	計	1	2	1			1		5	
オ セ ア	オーストラリア						1	1	1	0.3%
	計						1	1	1	
ヨ ーロ ッ パ	ハ ン ガ リ ー	1			1			1		0.6%
	ウ ズ ベ キ 斯 坎			1				1		
ア フ リ カ	計		1	1				2		
	ナ イ ジ ェ ィ ア					1		1		
	ウ ガ ン ダ			1				1		
	ル ワ ン ダ						1			
	コ ン ゴ 民 主 共 和 国	1				1	1	1	4	
合 計										

## 留学生の奨学金受給状況

※留学生受け入れがない大学は、計上しておりません



## 留学生の寄宿状況



## 平成20年度 福島県留学生交流推進会議機関名・団体名

### 1.高等教育機関

機 関 ・ 団 体 名		担 当 部 署	住 所	T E L	F A X
福島県立医科大学	事務局学生課	960-1295	福島市光が丘1	024-547-1095	024-547-1989
会津大学	学生部学生課	965-8580	会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90	0242-37-2515	0242-37-2526
会津大学短期大学部	事務室	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1	0242-37-2301	0242-37-2412
奥羽大学	学生課	963-8611	郡山市富田町字三角堂31-1	024-932-9117	024-933-7372
日本大学工学部	学生課	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原1	024-956-8631	024-956-8795
郡山女子大学					
郡山女子大学短期大学部	学務部学生生活課	963-8503	郡山市開成三丁目25-2	024-933-1958	024-933-1958
いわき明星大学	学長室	970-8551	いわき市中央台飯野5-5-1	0246-29-7190	0246-29-7109
東日本国際大学	国際センター	970-8023	いわき市平鎌田字寿金沢37	0246-35-0410	0246-35-0410
いわき短期大学					
福島学院大学	教務課	960-0181	福島市宮代乳児池1-1	024-553-9657	024-553-3222
福島学院大学短期大学部	教務課	960-0181	福島市宮代乳児池1-1	024-553-9657	024-553-3222
桜の聖母短期大学	教学部	960-8585	福島市花園町3-6	024-534-7137	024-531-2320
福島工業高等専門学校	学生課	970-8034	いわき市上荒川字長尾30	0246-46-0732	0246-46-0742
福島大学	学生支援グループ	960-1296	福島市金谷川1	024-548-8055	024-548-7681

### 2.国及び地方公共団体

機 関 ・ 団 体 名		担 当 部 署	住 所	T E L	F A X
仙台入国管理局郡山出張所		963-8024	郡山市朝日2-22-7	024-936-3231	024-936-3229
福島県	生活環境部国際課	960-8670	福島市杉妻町2-16	024-521-7183	024-521-7919
福島市	総務部企画政策課 都市間交流推進室	960-8601	福島市五老内町3-1	024-525-3739	024-525-3194
郡山市	総務部総務課	963-8601	郡山市朝日1丁目23-7	024-924-2031	024-924-0956
いわき市	市民協動課	970-8686	いわき市平字梅本21	0246-22-7415	0246-22-7609
会津若松市	企画政策部企画調整課	965-8601	会津若松市東栄町3-46	0242-39-1201	0242-39-1400
福島県教育委員会	教育総務課	960-8688	福島市杉妻町2-16	024-521-7759	024-521-7969
福島県市長会		960-8043	福島市中町8-2	024-522-6682	024-524-0322
福島県町村会	総務課	960-8043	福島市中町8-2	024-523-0131	024-522-9279

### 3.経済団体等

機 開 ・ 团 体 名		担 当 部 署	住 所	T E L	F A X
(財)福島県国際交流協会	多言語コーディネーター	960-8103	福島市舟場町2-1福島県庁舟場町分館2階	024-524-1315	024-521-8308
福島県商工会議所連合会	総合企画部総務課	960-8053	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8F	024-536-5511	024-525-3566
福島県商工会連合会	総務部総務グループ	960-8053	福島市三河南町1-20コラッセふくしま9F	024-525-3411	024-525-3413
福島県経営者協会連合会		960-8041	福島市大町4-15チェンバおおまち4F	024-521-3350	024-521-3420
福島経済同友会	事務局	960-8041	福島市大町4-4 東邦スクエアビル内	024-523-3171	024-522-5663
(社)日本青年会議所福島ブロック協議会		960-8041	福島市大町1-13第2長谷川ビル	024-528-1145	024-528-1146
ライオンズクラブ国際協会332-D地区	事務局	963-0102	郡山市安積町笹川字彼岸塚22-9	024-937-0830	024-937-0831
国際ロータリー第2530地区 米山記念奨学会		960-8141	福島市渡利字沖町133-2	024-522-8047	024-522-8047
国際ソロプロチミスト福島	事務局	960-8074	福島市西中央5丁目2-3サンクスビル1F	024-533-1334	024-533-1305

## 平成20年度 福島県留学生交流推進会議構成員・運営委員名簿

機 開 ・ 团 体 名		構 成 員		運 営 委 員	
高等 教 育 機 関	福島県立医科大学	学長	菊地臣一	学生部長	藤田禎三
	会津大学	学長	角山茂章	学生部長	兼本茂
	会津大学短期大学部				森文雄
	奥羽大学	学長	清水秋雄	学生部長	鈴木陽典
	日本大学工学部	工学部長	出村克宣	学生課長	吉田廣幸
	郡山女子大学	学長	関口富左	国際交流推進委員会主任	真船均
	郡山女子大学短期大学部				
	いわき明星大学	学生部長	勝又春次	学生部長	勝又春次
	東日本国際大学	学長	石井英朗	国際センター長	中田秋男
	いわき短期大学	学長	田久昌次郎		
	福島学院大学	学長	阿部正	タシケント国立東洋学大学交流担当	三浦尚之
	福島学院大学短期大学部				
国 及 び 地 方 公 共 团 体	桜の聖母短期大学	学長	渡邊恵子	教学部長	アンドリュー・デュアーラ
	福島工業高等専門学校	校長	奈良宏一	国際交流委員長	鳥居孝栄
	福島大学	学長	今野順夫	副学長	清水修二
	仙台入国管理局郡山出張所	所長	押野暢	所長	押野暢
	福島県	知事	佐藤雄平	生活環境部長	阿久津文作
	福島市	市長	瀬戸孝則	総務部長	青木高昭
	郡山市	市長	原正夫	総務部長	水澤照夫
	いわき市	市長	櫛田一男	市民協働部長	鈴木英司
	会津若松市	市長	菅家一郎	企画政策部長	吉田英俊
経 済 団 体 等	福島県教育委員会	教育長	野地陽一	政策監兼教育次長	小松信之
	福島県市長会	郡山市長	原正夫	事務局長	宮崎憲治
	福島県町村会	会長	湯田雄二	常務理事兼事務局長	馬場恒郎
	(財)福島県国際交流協会	理事長	山川充夫	専務理事	五十嵐直樹
	福島県商工会議所連合会	会長	瀬谷俊雄	常任幹事	山田義夫
	福島県商工会連合会	会長	田子正太郎	専務理事	根本佳夫
	福島県経営者協会連合会	会長	福井邦顕	専務理事	佐藤卓也
	福島経済同友会	代表幹事	花田勗	事務局長	吉田信克
(社)日本青年会議所福島ブロック協議会	(社)日本青年会議所福島ブロック協議会	会長	鈴木宗穎	運営専務	齋藤隆幸
	ライオンズクラブ国際協会332-D地区	キャビネット副幹事	浅川誠吾	Y.E.委員長	齋藤正行
	国際ロータリー第2530地区 米山記念奨学会	米山記念奨学会委員長	加藤義朋	米山記念奨学会委員長	加藤義朋
	国際ソロプロチミスト福島	国際親善と理解活動委員長	秋月元子	会長	矢吹美恵子

## 福島県留学生交流推進会議

事務局:福島大学学生支援グループ  
住 所:〒960-1296 福島市金谷川1番地  
電 話:024-548-8055 FAX:024-548-7681  
発 行:平成21年1月

